

令和7年度 園芸科「農業選択1 草花」シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	園芸科 2年A組
教科書	草花 (実教出版)	副教材等	日本農業技術検定問題集

1 学習の到達目標

<p>農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、草花の生産と経営に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 草花の生産と経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 草花の生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) 草花の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>
--

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1章 草花を学ぶにあたって 草花とプロジェクト学習	①プロジェクト学習とは ②プロジェクトの進め方 ③草花におけるプロジェクト学習	プロジェクト学習について理解する。	ノート記載内容 服装教具の準備
	第2章 草花生産と消費の動向 1 草花生産と消費の動向	①草花の生産と経営 ②草花の種類 ③草花の生産形態	草花の種類や生産形態について理解する。	行動観察 作業結果 定期考査
5	2 草花生産と消費の動向	①草花生産の動向 ②消費の動向 ③流通のしくみ ④流通の国際化	草花の消費や流通のしくみ、花の輸出入について理解する。	
6	第3章 生活と草花の利用 1 草花の多面的利用	①草花利用の意義 ②草花の利用 ③草花を用いた健康増進	草花の利用について理解する。	
	2 園芸デザイン	①園芸デザインと草花の装飾的特性 ②園芸デザインの基本 ③園芸デザインの実際	園芸デザインについて理解する。	
7	[花壇用草花生産]	マリーゴールド・サルビアなどの春用花壇苗	春用花壇苗の栽培管理について理解する。	
	[ドライフラワー]	ドライフラワーの作り方	ドライフラワーの作り方について理解する。	
	[花壇用草花の利用]	花の装飾	本校で栽培されている草花を使い、寄せ植えを作る。	
	農業技術検定の学習		問題集を使用した反復練習。実習などを通して名称や用途を理解する。	

9 10	第4章 草花の特徴と栽培技術 1 草花の生育と環境	①草花の一生 ②根の成長と養水分の吸収 ③シュートの成長と光合成 ④花序や花芽の分化と発達 ⑤生育開花調節と作型	草花の生育環境について理解する。	ノート記載内容 服装教具の準備 行動観察 作業結果
	2 品種改良と繁殖	③草花の繁殖方法 ④種子繁殖 ⑤栄養繁殖	繁殖方法について理解する。	定期考査
	3 草花の生育と栽培技術	①草花の生育と土・水・肥料 ②草花の栽培管理	栽培管理について理解する。	
11	第7章 花壇用草花生産 1 花壇用草花生産の経営	①花壇用草花生産の経営 ②花壇用草花の種類 ③花壇用草花の栽培と商品化	花壇用草花の経営や種類について理解する。	
	[花壇用草花生産]	パンジー・ハボタンなどの秋用花壇苗	秋用花壇苗の栽培管理について理解する。	
	[アレンジメント]	リース作成	ドライフラワーを使い、リースを作成する。	
12	農業技術検定の学習		問題集を使用した反復練習。実習などを通して名称や用途を理解する。	
1 2 3	第7章 花壇用草花生産 2 花壇用草花の利用と定植後の管理	①花壇用草花の利用 ②花壇用草花の定植後の管理	花壇用草花の管理について理解する。	ノート記載内容 服装教具の準備 行動観察 作業結果
	3 花壇用草花の栽培	各論	花壇用草花の栽培について理解する。	定期考査

3 評価の観点

知識・技術	草花の生産と経営に関するプロジェクト学習を通して、草花の生理・生態や生育環境などの草花生産に必要な知識と技術、草花生産の計画、管理、評価などの草花経営に関する知識と技術を体系的・系統的に理解している。
思考・判断・表現	草花の生産や経営に関して、生産技術や生産工程、販売方法などの生産や経営に関する課題を発見し、地域の草花経営の実践例や草花生産が果たす社会的意義と役割などを踏まえるとともに、環境や法令に遵守など、職業人として求められる倫理観をもって、科学的根拠などに基づいて創造的に解決する力を身につけている。
主体的に学習に取り組む態度	草花の生産と経営の学習を通して、草花生産が人々の暮らしを豊かにする素材を提供し、生活環境を創造するという社会的な役割を担っていることを理解し、品質と生産性の向上を図るとともに、安全で安心できる草花の生産と経営を目指し、その振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む力を身につけている。

4 評価の方法

「知識・技術」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点から、評価規準に従い総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ

<ul style="list-style-type: none"> ・出席を常にしてください。 ・授業に必要な教具を準備し、適切な服装で参加してください。 ・ノートは確実に提出しましょう。 ・道具を使うことがあります。安全に配慮して実習を行いましょう。使った物は確実に片付けましょう。最後まで取り組みましょう。 ・定期考査を実施します。評価の大切な材料となりますので、しっかり取り組みましょう。
